

2024

1/22

MON

14:00-15:00

開場 13:30

**入場
無料**

定員50名



神戸市シンポジウム

バイオフィリックデザインの 展開に向けて

会場

ANCHOR KOBE (アンカー神戸)
 神戸三宮阪急ビル15階

屋内外に関わらず、建築や都市空間のデザインにバイオフィリアを取り入れる“バイオフィリックデザイン”は、“建築”と“ランドスケープ”の要素を含む中間的な取組みであり国内では先進的な取組みとなっています。

バイオフィリックデザインの導入の可能性や今後の展開を検討するにあたり、JR熊本ビルなど様々なプロジェクトに取り組んでいる“ランドスケープアーキテクト”、神戸市内のデザイン系事務所で建築物への自然素材の導入や屋根緑化などに積極的に取り組んでいる“建築家”、神戸市公共建築物の設計・工事監理を担当している“市建築技術職員”との間で意見交換を行っていきます。

PROGRAM

14:00 — 開催趣旨説明

14:05 — クロストーク「それぞれの取組みや今後の展開に向けて」

小松 良朗 (株式会社日建設計)

前田 由利 (一級建築士事務所 YURI DESIGN代表)

小林 賢一 (神戸市建築住宅局)

久元 喜造 (神戸市長/コーディネーター)

15:00 — 閉会

※スケジュールなどは予告なく変更・中止になる場合がございます。

小松 良朗 こまつ よしあき

株式会社日建設計 都市・社会基盤グループ
 都市デザイングループ ランドスケープ設計部 部長/
 近畿大学非常勤講師、ランドスケープアーキテクト

オフィス、教育施設、ホテル、商業施設等のランドスケープデザインや特殊緑化技術を駆使した環境建築、Biophilic Designのプロジェクトに積極的に携わる。その地域、その場所でしかできない風景づくりを心がけ、人々の生活を豊かにする気持ちの良い空間づくりの創出に取り組む。

受賞歴

Biophilic Design Award・IFLA AAPME Award・
 日本造園学会賞・グッドデザイン賞他



YANMAR TOKYO (©日吉祥太)

前田 由利 まえだ ゆり

一級建築士事務所 YURI DESIGN代表
 一級建築士

1998年「人と環境に負荷の少ない家づくり」を目指して「御影草屋根の家」をつくる。石油化学製品を極力排除し、環境負荷を軽減することを目指す。自然素材、職人による手仕事、古材利用などが得意。特に、木造の傾斜屋根緑化の完成件数は60件になり、2010年「草屋根の会」を立ち上げて、情報交換の場としての社会活動をスタートした。

所属ほか

兵庫県ヘリテージマネージャー・西宮市宮っ子いえ
 アドバイザー・芦屋市景観認定審査会委員



申込方法

下記ホームページにて参加申込をお願いいたします。【先着順(定員50名)】 締切 2024.1.12(金)

<https://kobecity-event.jp/reservations/calendar?id=1882>

問い合わせ

 建築住宅局技術管理課 kentikugikan@office.city.kobe.lg.jp
